

- ・会議の日時及び場所
日時 平成25年10月29日(火) 午後3時28分
場所 小山市立下生井小学校図書室
- ・会議の組織人員
人数 5人
- ・出席委員
1 番 福井 崇 昌
2 番 神山 宣 久
3 番 福地 尚 美
4 番 新井 泉
5 番 酒井 一 行
- ・説明のため本会議に出席した職員
教育部長 生賀 幸 男
教育総務課長 神長 和 博
学校教育課長 横塚 貞 一
生涯学習課長 栗原 要 子
文化振興課長 中村 孝太郎
生涯スポーツ課長 篠田 稔
- ・書記
教育総務課長補佐兼総務政策係長 添野 雅 夫
教育総務課主任 中村 洋 之

議題

報告事項

- 1 教育総務課
 - ・寄付受入れについて
- 2 学校教育課
 - ・平成26年度小・中学校職員定期異動方針について
- 2 生涯学習課
 - ・小山市いじめ等防止市民会議(第2回)の開催について
 - ・小山市制プレ60周年・栃木県誕生140年第8回小山市青少年健全育成大会の開催について
- 3 文化振興課
 - ・第23回小山市文化振興大会(～小山市制プレ60周年・栃木県誕生140年～第60回市民文化祭開幕祭・文化祭ポスター表彰式)の開催について
- 4 生涯スポーツ課
 - ・2013おやまスポーツ・レクリエーションフェアの結果について
 - ・小山市制プレ60周年・栃木県誕生140年記念「第1回小山市フォークダンスフェスティバル」の開催について

- ・平成25年度大会結果速報について

協議事項

- ・下生井小学校 「地域とともにある学校づくり」～下生井小学校140年目の挑戦～

- ・議案内容

○福井委員長

本日はご苦勞様です、定例教育委員会に先立ち、協議事項ということで、下生井小学校の取組みについてから入ります。

説明者は、校長先生からになりますか。それではお願いいたします。

○中島下生井小学校長

<協議事項の説明>

○福井委員長

ご説明ありがとうございました。

それでは、ご意見等あればお願いいたします。

<意見交換>

○福井委員長

協議事項についての意見交換ありがとうございました。

それでは、ただいまより10月の定例教育委員会を開会いたします。

本日の会議録署名委員の指名であります。神山委員をお願いいたします。

続きまして、報告事項に入ります。私のほうから1件ですが、10月11日、下都賀地区市町教育委員会連合会定例会が開かれました。

内容は、平成25年度の事業の中間報告、あと会計の中間報告、それから2番目として、平成26年度小中学校職員定期異動についてです。それと、4番目に役員の異動についての議論であります。

特に平成25年度の中間報告につきましては、当初の予定どおりやっていますと報告があり、会計もそれに応じて説明されました。

それから、今言いました小中学校の平成26年度小中学校職員定期異動については、後ほどご説明いたしますが、県の定期異動方針にのっとって教育長部会で事務を進めてくださいと委任を決定いたしました。そのことが重要な10月の定例会の議題でありました。

私のほうの報告事項は以上であります。

続きまして、教育からお願いいたします。

○酒井教育長

都市教育長部会の報告です。事務局が那須烏山市にありましたが、2年間のサイクルがちょうど終わりましたので、中部地区、日光から鹿沼、宇都宮などが含まれる部分から新たに宇都宮市が事務局、水越教育長が県の都市教育長部会の会長に決定をいたしました。任期は、10月から2年間でございます。

なお、副会長には佐野市、岩上教育長、それから大田原市、新江教育長が就任をいたしましたので、ご報告をいたします。

なお、協議事項が幾つかございまして、国あるいは県に対する要望事項等、あるいはお

互いの情報交換が行われ、ことしは学校栄養職員の配置、とりわけ栄養教諭の登用数の課題について意見交換がなされました。県の法定数関係を引き下げてほしいとの意見が出ました。国では例えば単独調理校では550人の児童生徒数に対して1人と設定していますが、県は600人に1人ということで国に合わせて引き上げしてほしいということについての情報交換をさせていただきました。

それから、2つ目は、先般も矢板小学校が竜巻被害に遭ったわけでありますけれども、自然災害時のマニュアルについてということで、災害訓練や保護者への連絡体制で、さらには災害に備えた教育のあり方が話し合われました。矢板小学校におきましては、矢板市の教育長とも話す機会があり、新聞、テレビ等で報道はされましたけれども、襲ってくる15秒ほど前に気がついて、急いでカーテンを閉め、そして子供に避難態勢をとらせたということで、惨事には至らなかったということであります。要は日ごろの訓練の大切さなどについて勉強させられました。

小山市でいえばアルカディア、不登校適応指導教室がありますけれども、この運営につきましてまだまだ未配置のところ、あるいは施設が広がっているところ等がございましたので、情報交換の中でアルカディアの事例などについて紹介をさせていただきました。

続きまして、市の中の主な流れでございますけれども、校長会が1月22日に行われ、人事異動について一人一人教職員の思いを大切にしてほしいこと、定期異動時について、粛々と進めていくことをお話をさせていただきました。

その他、教育方法としまして「褒めて育てる小山のよい子」ということで、子供たちを育てる一つの方策として褒めることが有効であり、ピグマリオン効果などの再認識を図るように、お話をさせていただきました。

さらには、御礼ということで、障害者の施設の優先調達推進法が粛々と進んでいることに関して申し上げますと同時に、各小中学校で、小山生まれのオレンジリボン運動が推進されているということについて感謝をいたしました。

さらに、交通安全の活動の件や台風関連の、指示などをさせていただきました。

11月16日は、小山きもの日ですので、ぜひ着物でお出かけをいただきたいと、お話をさせていただきました。

10月15日に教頭会研修会が行われ、若干細かく小中一貫校、あるいは小中一貫教育の学びをつなげる、育ちをつなげる、そのような視点から、学校づくりに励んでほしい。特にともにつくる共創の学校、学級づくりに励んでいただきたい。さらには元気な挨拶が響く学校づくりを進めていただきたいとお話しをさせていただきました、特に安心、安全の保障について、いざというときの備えは本当に大丈夫かということで、点検を求めたところでございます。

特にMCA無線が配置されておりますので、そういったことにつきましても有効活用が図れるよう、訓練を進めるということで指示をいたしました。

また、一番最近では、29日に教務主任研修がございまして、道徳の教科化などが国からも話題として出されております。ローカルな話でございますけれども、次年度から本場結城紬、さらには渡良瀬遊水地関連の教材が整備されますので、教育課程に位置づけをして、どの学校も特色ある小山市の教育活動として展開してほしいと話をさせていただきました。

その他につきましては、校長会、教頭会と同じく、「褒めて延ばそう小山のよい子」ということで、褒める教育の大切さ、さらには私自身が勉強してきたことをごさいますけれども、東京大学の濱田総長が教育改革について熱いお話をしてくださり、特に心に残った幾つかのお話をさせていただきました。我が国は一斉授業の中で人材を育ててきましたが、これからやはり双方向型の授業も大切だろうということで、これまで我が国の教育について再度評価するとともに、新しい形の授業も取り入れていかなければならない。しかしながら、大学においては、教授が変わっていかなければなかなか先に進まないのだという話をしておりました。

また、文部科学省の動きと合致するわけでありませうけれども、秋入学、この年齢を下げていきますと5歳児の秋入学などについても論議が及び、大学としては4学期制にしたい。理由は、6、7、8月とあけて社会体験をさせたいのだというお話でした。小山市はこれまでも体験を通した教育活動を進めていますけれども、そういった観点から、教育課程の編成をしてほしいと、お話をさせていただいたところです。

以上でございます。

○福井委員長

続きまして、教育部長からお願いいたします。

○生賀教育部長

私からは特にございません。

○福井委員長

続きまして、教育総務課長からお願いします。

○神長教育総務課長

教育総務課から1件、寄附の受け入れについてお話しさせていただきます。

3ページをご覧ください。小山市教育委員会、金品、小山モラロジー事務所ほか旭小学校、中央図書館に図書を受け入れをしております。

以上、ご報告申し上げます。

○福井委員長

続きまして、生涯学習課長からお願いします。

○栗原生涯学習課長

生涯学習課から2件ございます。

まず、4ページをご覧ください。小山市いじめ等防止市民会議、第2回の開催についてでございます。いじめ防止推進事業の一環として、幅広い視野から各関係機関の専門性のあるご意見をいただき、学校、家庭、地域、行政が連携して、市民レベルでいじめ撲滅へ向けた取り組みを考え、実践するものでございます。

日時は、11月11日月曜日午後1時15分から3時15分まででございます。会場は、小山市立文化センターの小ホールでございます。内容は、主に協議事項でございます。講師兼コーディネーターには、第1回と同じく宇都宮大学の廣瀬先生をお招きしております。1グループ4名から5名のグループを作りまして、5グループになりますが、前半はいじめゼロ撲滅に向けて、個人としてあるいは団体としてお互いができることを発表していただきます。これにつきましては、事前に提出資料をいただいております。

後半は、小山の大人の行動指針の作成ということで、「地域（小山）の大人がいじめゼ

ロ撲滅に向けて、やるべきことは！」の視点で、1グループごとに行動指針を作成していただきます。

休憩をとりまして、語り人の稗田遼子さん、「あいしてくれてありがとう」という、この絵本を読んでいただくことになっております。約20分でございます。

その後、それぞれ各グループの小山の大人の行動指針の発表をしていただきます。

なお、教育委員の皆様には、参観者としてお席をご用意しておりますので、どうぞよろしくご参加をお願いしたいと思います。

それでは、2件目でございます。5ページをご覧ください。小山市制プレ60周年記念・栃木県誕生140年記念第8回的小山市青少年健全育成大会の開催についてでございます。お手元にピンクのチラシが配付されているかと思いますが、そちらをあわせてご覧いただきたいと思います。青少年の今を感じるとともに、青少年たちが安心して健やかに成長するために、地域で支え合う「健全な環境、安全で安心な小山」を広く訴えていく事業でございます。今回は第8回目でございます。日時は、11月16日の土曜日午後1時から2時半です。

なお、午前中は、先ほど教育長からお話がありましたが、着物の日の事業が正午ごろございますのでそちらが終わりましたら、こちらの健全育成大会のほうに参加いただきたいと思ひます。場所は大ホールです。

内容は、8回目になっていきますのでご存じかもしれませんが、青少年の主張の作文発表でございます。小学6年生の部、中学1、2、3年生の部、高校生の部、大学生、新成人の部ということで、発表者が15人いらっしゃいます。なお、これにつきましては、111点の青少年の主張の作文の応募がございました。

審査の間はアトラクションがございます。開運太鼓、それから生井桑摘み唄、またショートフラッグチアダンス、おやまだいすキッズの子どもたちによる発表がございます。その後結果発表、表彰、講評となります。

なお、この期間は子ども・若者育成支援の強調月間ですので、同時に大ホールで啓発活動を行う予定であります。こちらも皆さんお誘いの上、ご参加をいただきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

以上でございます。

○福井委員長

続きまして、文化振興課長、お願ひします。

○中村文化振興課長

資料の6ページになります。件名は、第23回小山市文化振興大会（小山市制プレ60周年記念・栃木県誕生140年記念第60回市民文化祭開幕祭・文化祭ポスター表彰式）の開催についてです。

平成5年度からは市民文化祭の開幕祭として開催しております小山市文化振興大会をこたしも開催するものがございます。日時は、平成25年11月2日土曜日、午後1時から午後4時を予定しています。会場は、小山市立文化センター大ホール、入場は無料でございます。主催は、小山市教育委員会、小山市文化協会、2者の共催によるものです。

内容は、開会行事に続きまして、市民文化祭ポスターの原画として採用されました文化祭ポスター展の最優秀賞、福島未織さんの表彰、それから優秀賞として3人の生徒さんの

表彰を行う予定です。

それに続きまして、文化協会の表彰規定によります功労賞の表彰を行い、茶華道、田中美雲さん、邦楽、尺八をやっております浅野夏山さん、それから新舞踊、亀田光子さんというお三方を学術、芸術、文化の分野で広く市民の文化向上に寄与したということで表彰を行う予定です。

この表彰に続きまして、市文化振興大会の記念公演としまして、今年は文化協会加盟の歌謡協会、新舞踊協会、音楽連盟によります「ふるさとを想う」と題しましたリレー公演、1時間ほどを予定しているところです。

最後は、小山市工芸クラブ連合会によります手づくりの賞品を用意した大抽せん会を行い、閉幕の予定となっております。

なお、期間中、小山市文化祭各部門の日程につきましては、7ページに記載させていただいております。多くの方のご参加をいただければと考えています。

以上でございます。

○福井委員長

続きまして、生涯スポーツ課長からお願いします。

○篠田生涯スポーツ課長

生涯スポーツ課からの報告事項は3件でございます。

初めに、資料8ページをご覧ください。2013おやまスポーツ・レクリエーションフェアの結果についてです。10月5日土曜日、午前8時半から午後3時まで、県南体育館及び温水プール館を会場に実施いたしました。

当日はあいにくの雨天となり、戸外の競技が十分できませんでした。したがって、まず人数のほうを申し上げたいと思いますが、1,744名という数字が出ておりますが、前年に比べ300人から400人少ない数字となっております。

特徴的なのは、2番目のメインアリーナで午前中開催いたしましたドッジビー大会でございます。昨年に続いて2回目の催しでございますが、それまで長縄跳びを実施してきましたが、昨年にも増して人数を集め、にぎやかに実施することができました。参加状況は、実数的には昨年並みということですが、昨年は、中学生チームが多かったのですが、今年は予想どおりと申しますか、小学生向けに考えて、昨年と逆転するような形で小学生チーム16チームが参加をいただきました。人数的には、にぎわった昨年並みの大会が実施されました。内容、ほか競技についてはご覧のとおりです。よろしく願いいたします。

続きまして、9ページ、小山市制プレ60周年記念・栃木県誕生140年記念第1回小山市フォークダンスフェスティバルの開催についてです。小山市独自のフォークダンスフェスティバルを初めて開催するものでございます。より多くの市民がスポーツ、レクリエーション活動に親しみ、気軽に参加できる機会を提供することで「市民ひとり1スポーツ」の普及推進を図ることを目的といたしております。

主催等は、小山市と小山市教育委員会、小山レクリエーション協会、小山市フォークダンスフェスティバル実行委員会組織をして実施をいたします。後援は、栃木県フォークダンス協会ほかテレビ小山放送、新聞各社でございます。

日時は、11月24日、日曜日午前10時から午後3時30分まで。開会式を午前11時から予定しております。その中でおやま交流タイムというネーミングで約2時間程度の交流、趣向を

凝らした時間帯を設けております。フォークダンスやレクリエーションダンス、日本民謡など、そしていろいろな種目が披露され、中にはなじみのない曲もあろうかと思うのですが、皆で親しんで踊っていただくということで提案をしてみたいと考えております。

会場は、栃木県立県南体育館メインアリーナとサブアリーナ、内容は、ダンス交流会、初心者向けの大会にいたしております。

参加資格は、特にございませんし参加料も無料となっております。

その他ということで、今回の位置づけですが、市内外のサークルに広く参加をいただき、市内全サークルの参加のもとに大会を運営し、成功させたいということで、当初申し上げました冠をつけた催しを予定しております。

10ページ、平成25年度大会結果速報について、9月11日から10月16日分をお知らせいたします。

9月20日、水泳で常田夏綺、桑中学校、県中学校新人水泳大会の結果はご案内のとおりでございます。

9月21日からは県高等学校新人陸上大会の結果、4つ紹介いたしております。池沢彩花、小山西高等学校、女子ハンマー投げ、佐藤大希、小山北桜高等学校、男子棒高跳びです。

9月22日、野口祥太郎、小山北桜高等学校、男子やり投げです。遠山千彩都、小山西高等学校、女子やり投げです。成績等のご案内のとおりです。

9月22日、旭町学童野球部、10回NPBCUP選抜学童軟式野球大会で優勝です。

10月6日、国民体育大会、重量挙げで、関口さとし、少年69キロ級、ジャーク、スナッチ、トータルの成績を紹介させていただいております。

次に、弓道競技を追記させていただきました。生田直己、小山城南中学校、県中学校総合体育大会、弓道男子個人です。

8月12日、小山城南中学校、関東中学生弓道大会男子団体です。生田直己、小山城南中学校、関東中学生弓道大会男子個人、成績はごらんのとおりです。

参考ということで、萩野選手、岸愛弓選手の活躍を紹介しております。

簡単ですが、ご報告いたしました。よろしく申し上げます。

○福井委員長

報告事項は以上であります。ほかに報告するものはありませんか。

学校教育課長。

○横塚学校教育課長

学校教育課から今回の審議事項について報告事項ということでよろしいですか。

○福井委員長

ちょっと私から。審議第1号ということで、平成26年度小・中学校職員定期異動についてと入っております。従来、教育長にこの定期異動の事務を委任するという手続をとっており、その中でやってきたのですが、本年度は下都賀教育事務所が担当しており事務委任の必要はないという見解であります。ですから、今回は議案事項ではなくて、報告事項ということでございます。

改めて私からまず第一番に報告いたしますけれども、平成25年度10月11日の下都賀地区市町教育委員会連合会におきまして、平成26年度小・中学校職員定期異動について、これは教育委員長と教育長で集まった会議であります、この中で教育長部会にこの定期異動

の事務を委任することを決定いたしました。

私からは以上でございます。内容の細かいことにつきましては、教育長及び学校教育課長からお願いいたします。

学校教育課長。

○横塚学校教育課長

それでは、学校教育課から、平成26年度小・中学校職員定期異動方針について、ご報告を申し上げます。

栃木県教育委員会並びに下都賀地区市町教育委員会連合会から方針が示されましたので、それにつきましてご説明を申し上げます。

お配りをいたしました資料をご覧ください。平成26年度の小中学校職員の定期異動に当たっての方針ということで、1から8まで方針が示され、円滑かつ適切な人事異動を行うものとしております。真ん中から下、8の方針等について確認の意味で読ませていただきます。

1、人材を抜擢して人事の刷新を図る。

2、人事異動を職員の資質向上のための機会と捉え、人材の育成を重視した職員配置に努める。

3、勤務実績、年齢及び同一校勤務年数等を考慮して、適材を適所に配置する。

4、学校間の職員構成の均衡を図る。

5、小学校、中学校間の円滑な人事の交流に努める。

6、広域にわたる人事の交流を推進し、職員構成の全県的な均衡を図る。

7、僻地教育及び特別支援教育の振興のため、適正な職員配置に努める。

8、新規採用職員については、地域及び学校間の職員構成を考慮して、適正に配置するというものでございます。

裏面をご覧ください。ここには、ただいま読み上げさせていただきました1から8の項目を受けまして、定期異動方針の運用について、さらに詳しい説明が載っております。1点だけ昨年度との変更点がございますので、この変更点についてご説明を申し上げます。

一番下の段になりますが、附記がございます。その2をご覧ください。真ん中辺から読ませていただきますが、満年齢45歳以上かつ勤務年数20年以上の者で、早期退職募集制度に応募し、任命権者の認定を受けて退職した者については、平成26年3月31日付をもって退職とすると26年度の異動方針には載ってございます。

昨年度までは、満年齢45歳以上というところが満年齢50歳以上ということで、5歳下げられたこととなります。

また、今年度のところは早期退職募集制度という名称になっていますが、昨年度までは勧奨による退職という文言が使われていました。いわゆる勧奨による退職という文言が早期退職という文言に変更になりました。この1点が昨年度からの変更点となります。

以上、雑駁な説明でございますが、平成26年度小中学校職員定期異動方針と異動方針の運用について簡単にご説明を申し上げます。私からは以上でございます。

○福井委員長

教育長から補足等はございますか。

○酒井教育長

先ほど教育委員長から、経過についてお話があり、ただいま学校教育課長から細々と説明がありましたが、この定期異動方針に従い、円滑、円満に人事異動を進めてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

以上でございます。

○福井委員長

それでは、報告事項につきましては以上でございます。この報告事項についてご質問、ご意見などをお伺いいたします。

では私から、4ページのいじめ防止市民会議について、内容はグループワークをこの会場でやるということなのですが、会場の中でグループをつくってやるという意味なのですか。

○栗原生涯学習課長

事前に委員の方にはこちらでいろいろな立場の方たちを、意見が出しやすいグループにある程度お分けしておき、そのグループで協議をしていただくという形になります。

○福井委員長

この小ホールの中で、ですか。

○栗原生涯学習課長

はい。いじめゼロ子どもサミットを開催したときと同じような形で、5つのグループに分けて協議をしていただきます。よろしくお願いいたします。

なお、今までは顧問の先生に、小山警察署と弁護士の先生がいらっしゃったわけなのですが、この2回目につきましては、警察署の方、弁護士の方も協議のグループに入っていて、提言をいただくという形になります。

○福井委員長

わかりました。

そのほかいかがでしょうか。

〔発言する者なし〕

○福井委員長

では、また私から、9ページの生涯スポーツ課、第1回小山市フォークダンスフェスティバル、これは第1回ということで、初めてやるという意味ですけれども、この内容を見ると、市内外のサークルに広く参加していただき市内の全サークル参加のもとに大会を運営するという形になっていますよね。

○篠田生涯スポーツ課長

はい。

○福井委員長

これは、既にもうグループとしての参加募集をかけている形なのですか。ここには自由参加と書いてありますが、募集しないでいきなり自由参加にするのか、そこら辺の説明をお願いします。

○篠田生涯スポーツ課長

まず、市内のほうですが、各サークルさんに実行委員になっていただき、いろいろ下準備を進めていただいております。小山市内の愛好者の皆さんにはぜひ参加いただきたいということでお願いしているところでございます。

それから、県内について、昨年栃木県のフォークダンス協会の50周年記念大会を小山で開いていただきました。ぜひ次年度は小山で開きたいからというお話を申し上げまして、今週の朝から県内のサークルさんには協会を通じてお声かけをしてくれているところがございます。

それから、県外は、今回初めてということで、十分粗相なくできたらと期しているところがございます。まずは北関東の茨城県、それから群馬県、それと埼玉県にお声かけをしまして、ぜひ参加をしていただきたいということで周知を図ってまいりました。

以上でございます。

○福井委員長

ちょっと関連づけて、このプログラムの内容で、受け付けが午前9時から始まりますよね。

○篠田生涯スポーツ課長

はい。

○福井委員長

午前11時に開会式をやって、交流タイムが午後1時、終了が午後3時という、この時間の配分というのは、チーム数にもよりますけれども、この時間帯でおさまるのですか。

○篠田生涯スポーツ課長

まず、この大会そのものは、午前10時から午後3時30分ということでした。この大会の特徴なのですけれども、受け付けをしながら、足ならしタイムという呼ばれ方をしているのですが、受け付けして、ただ静かに待っているというのではなく、どんどん曲が流れ、準備体操ではないのですけれども、足ならしタイムということで、音楽に合わせて踊っている形があるのだそうです。したがって、受け付け、同時に足ならしタイムということで紹介をさせていただいております。

実際には、開会式を皆さんがあちこちから参加いたしますので、皆さんが交流、集まっていたく時間帯が午前11時ぐらいにすれば恐らく皆さんが集合できるのではないかとということで、開会式を午前11時に設けているところです。

実際のプログラムメニューは午前10時から午後3時30分ということで用意をしております。開会式は午前10時、それとおやま交流タイム、これはこの午前10時から午後3時30分までの間の時間帯に名前をつけたものですが、開会式終了後、恐らく午前11時20分ぐらいになるかと思えます。それから午後1時まで約1時間45分ぐらいをフォークダンスあり、レクリエーションダンスや日本民謡という構成で小山市から曲目を提案いたしまして、皆さんで参加していただきます。違った趣向のもとにおやま交流タイムということで設けた次第です。

○福井委員長

では、開会式を延々と午後1時までやっているという意味ではないのですね。

○篠田生涯スポーツ課長

はい。

○福井委員長

そうですか。

○篠田生涯スポーツ課長

ええ。恐らく午前11時20分ぐらいでおさまるのではないかと見通しておりますので、よろしくをお願いします。

○福井委員長

すると、午前11時20分からは交流タイムではなくて、各グループが何か自由に踊っているという感じなのですね。

○篠田生涯スポーツ課長

ええ、これ交流タイムは、まずサブアリーナとメインアリーナと両方で動いているのですが、この時間帯は全部がメインアリーナに集合してもらうことになります。そして、小山のサークルがフォークダンス7つ、レクリエーション2つ、日本民謡4つが参加いたします。合計13サークルがあるのですが、1つずつ得意なイベントを持ち寄り、それを皆さんに演じてもらうということで、特徴を持たしております。

○福井委員長

それが午前11時20分から午後1時までの間なのですね。

○篠田生涯スポーツ課長

そうです。

○福井委員長

午後1時から午後3時30分の間は何をやるのですか。

○篠田生涯スポーツ課長

実はこれも、この前に午前10時から午前11時まで同じ交流タイムとなります。午前10時から午前11時まで、午後1時から午後3時30分まで、これについてはあらかじめプログラムに用意された曲目が流れますので、これを踊ってもらいます。

○福井委員長

もう一つ、では細かい時間は、プログラムに出てくるわけですね。

だから、交流タイムは午後1時で終わりではなくて、その後も続いているのですね。

○篠田生涯スポーツ課長

ええ、おやま交流タイムということで、とにかく全員がそこへ集まってフォークダンスや民謡などを踊って過ごす時間となります。これについては午前11時20分から午後1時までです。

○福井委員長

フェスティバルというのは、それ全体をいつているのか、それとも午後1時過ぎの午後3時30分までをフェスティバルという形で捉えていいのかということがちょっと見えませんよね。

○篠田生涯スポーツ課長

時間としては午前10時から午後3時30分まで、これがフォークダンスフェスティバルの開催時間帯です。

あと、おやま交流タイムという趣向を凝らした提案型の時間帯をその間に設けています。

会場につきましては、メインアリーナとサブアリーナを用意したわけなのですが、おやま交流タイムに限って、全員がメインアリーナに集まっていたらいい、一カ所で交流を持ちたいというような中身になっております。

○福井委員長

午後1時になったら、各会場に分かれてまたやるのですか。

○篠田生涯スポーツ課長

そうです。

○福井委員長

では、午後1時過ぎは。また別な名称がつくのですね。

○篠田生涯スポーツ課長

フォークダンスフェスティバルという形になります。

○福井委員長

そっちがメインなのですね。

○篠田生涯スポーツ課長

両方合わせて楽しんでもらおうというのが趣旨でございます。

○福井委員長

では、もう午後1時過ぎたら、各会場も自由にやっているという感じなのね。

○篠田生涯スポーツ課長

はい。メインアリーナがフォークダンスを主に踊るということで7番とかがございますけれども、これが一つのパターンです。

おやま交流タイム以外の会場で行われているものは、メインアリーナがフォークダンス、海外の民謡、これらを主に踊ります。

サブアリーナは、レクリエーションダンスと日本民謡を主に踊っています。

そして、おやま交流タイムだけメインアリーナに全員が集合していただいて時間を過ごすというのがこのおやま交流タイムということになっております。

○福井委員長

サブアリーナというのは、観客席はありますか。

○篠田生涯スポーツ課長

サブはございません。

○福井委員長

すると、そこへお客さんは入らず、メインアリーナだけ見る形になるのですか。

○篠田生涯スポーツ課長

そうですね。

壁際に立っていただいてということになると思います。

ただ、見ていただくのではなく、ぜひ輪の中に入っていただくということでお声かけをいたします。

○福井委員長

どっちかという、見るよりも、一緒に踊りましょうという感じなのですね。

○篠田生涯スポーツ課長

そうです。

○福井委員長

はい、新井委員、どうぞ。

○新井委員

レクリエーションダンスは、フォークダンスと違うのですか。

○篠田生涯スポーツ課長

若干創作が入っていると聞いております。このフェスティバルそのものは、広い意味でのフォークダンス、フォークダンスもレクリエーションダンスも日本民謡も入ってくるのだということで捉えていただければありがたいなと思っています。

そして、では狭い意味のフォークダンスといった場合に、ここでいうと外国の民謡を指す形でご理解いただければありがたいなと思っています。そして、それと別に日本民謡があるのだというようなこと。本来であれば同じ民謡ですから、フォークダンスということで一緒に語ることができるわけですが、ここでは外国民謡を狭い意味で指してフォークダンス、そして日本民謡と、ただレクリエーションダンスということで表記してあります。

○新井委員

そうすると、とおっしゃるのは、歌の創作ですか。

○篠田生涯スポーツ課長

踊る……

○新井委員

踊りも音楽も両方。

○篠田生涯スポーツ課長

ええ。音楽については……

○新井委員

音楽は。

○篠田生涯スポーツ課長

音楽については、既成の曲がありますので。

○新井委員

既成の音楽に、ダンスを創作するということですか。

○篠田生涯スポーツ課長

そうです。

○新井委員

わかりました。

○篠田生涯スポーツ課長

フォークダンスというと、やはり日本民謡をごらんになるとおわかりのように、振りつけは決まっているわけです。昔から伝わっている踊り方があるわけです。

○福井委員長

ほかにいかがでしょうか。

○福地委員

人事異動の件に関して、ちょっと耳にした話ですが、10年近く同じ学校にいらっしゃる先生のお力が強くて、新規にいらした校長先生の意見が通らないというところがあるみたいなのですが、そういう10年以上の先生は、やっぱり早目に異動お願いするということができないのでしょうか。

○福井委員長

学校教育課長。

○横塚学校教育課長

下都賀の場合でいいますと、同一校8年ということになり、これは積極的に異動をするという欄に異動希望等は書くことになりまして、積極的に異動の対象になるわけでございます。

ただ、いろんな事情等もあり、バランス、あるいは育休なども含めて8年以上とか、になりますと、なかなか8年に至ったから異動というわけにはいきませんので、そういったことも含めて、小山市は同一校10年という方も何名かはおりますが、これは積極的に異動をしたいということで異動事務を進める考えです、これは下都賀管内においてもそういう考えを進めていくことになっています。

○福地委員

校長先生がやりにくいだらうなということをちょっと聞いたものですから。

○横塚学校教育課長

校長がやりにくいのは、その方が長くいるのか、別のものかはわかりませんが、ちょっと実情はよく把握しておりませんので……

○福井委員長

ほかにいかがでしょうか。

それでは、報告事項につきましては、全て承認するというところでよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○福井委員長

それでは、報告事項につきましては全て終了ということで、終わります。

続きまして、審議事項に入ります。

○福井委員長

議案第1号 小山市生涯学習推進協議会委員の委嘱についてであります。

これについての説明をお願いいたします。

○栗原生涯学習課長

それでは、生涯学習課から、小山市生涯学習推進協議会委員の委嘱についてでございます。

13ページをご覧ください。趣旨でございますが、小山市生涯学習推進協議会条例第3条、第4条の規定に基づき委嘱するものでございます。委嘱期間は、平成25年3月1日から平成27年3月31日までの2カ年でございます。委嘱者の氏名、役職等は別紙（案）のとおりでございます。

資料は、生涯学習推進協議会委員名簿、小山市生涯学習推進協議会の条例を載せておりますので、あわせてご覧いただきたいと思います。

14ページでございますが、名簿（案）の中に、女性の比率ですが、15人中4人が女性で登用率は26.6%です。

それから、15ページの第3条の第2項でございます。委員は次に掲げる者のうちから、市長が教育委員会と協議し、委嘱するということになっておりますので、審議事項で確認しているものでございます。どうぞよろしくをお願いいたします。

○福井委員長

議案第1号の説明は以上であります。

これについての審議をお願いいたします。

福地委員、どうぞ。

○福地委員

この案件は4月1日からということですが、今もう10月になっておりますけれども、これは毎年こんなふうになってしまうのですか。

○福井委員長

生涯学習課長。

○栗原生涯学習課長

4月1日からなのですが、それぞれの選出母体から推薦をいただきますので、協議に若干時間がかかっております。昨年もおおむね10月ごろに審議していただいた状況でございます。よろしく願いいたします。

○福地委員

そうしますと、4月から10月まではもう活動していらしているということですね。

○栗原生涯学習課長

これからでございます。11月に委嘱状の交付をいたしますので、まだ活動は全然しておりません。

○福井委員長

新井委員、どうぞ。

○新井委員

この1期目という方は、全部新しい方ですか。

○栗原生涯学習課長

はい、そうです。

○福井委員長

ほかにいかがでしょうか。

〔発言する者なし〕

○福井委員長

特に異議がなければ、原案どおり決定してよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○福井委員長

それでは、議案第1号につきましては原案どおり決定いたします。

本日の審議事項は以上でございます。

続きまして、次回の委員会の日程の説明をお願いします。

教育総務課長。

○神長教育総務課長

11月の定例教育委員会の日程ですけれども、日にちが11月18日月曜日です。午後1時半から、場所は、移動定例教育委員会ということで、大谷公民館で開催させていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

○福井委員長

それでは、10月の定例教育委員会の審議、以上でございます。

これをもちまして10月の定例教育委員会を閉会といたします。

長時間にわたり、ご協議ありがとうございました。

閉 会 午後 4 時 23 分
